

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年 11月 23日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3474100298		
法人名	尾道市		
事業所名	公立みつぎ総合病院グループホーム「かえで」		
所在地	広島県尾道市御調町高尾1348番地6 (電話) 0848-76-2569		
自己評価作成日	令和6年10月15日	評価結果市町受理日	令和6年12月17日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3474100298-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3474100298-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和6年11月18日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

公立みつぎ総合病院グループホーム「かえで」では、入居者が住み慣れた地域で家庭的な環境のもと生活しています。母体病院や総合施設の他部署と協力して包括的な医療提供体制が出来ています。地域の行事へは、図書館の作品展示や原爆慰霊碑へ千羽鶴献納等、参加しています。敷地内に菜園があり、入居者とスタッフが一緒に野菜作りをしています。収穫した野菜は食卓に上っています。また総合施設や「かえで」での研修を受講し、ケアの質向上のため、職員一人ひとりが自己研鑽に励んでいます。心身機能・生活機能の維持向上を目指し、基本理念に沿ったケアの実践を重視した運営を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

医療との連携と公立ゆえの市との連携を充実させている。内科、精神科、歯科、皮膚科の医師による訪問診療、訪問看護やリハビリ職との連携、歯科衛生士や管理栄養士との連携、音楽療法の実施など医療と連携している。市とは、市の開催する病院施設センター連絡会議の一員として連携している。グループホームの職員全員が介護福祉士であり、法人の研修やグループホームの研修、階層別の研修など職員教育が充実している。菜園の野菜を活用し、ユニットごとに毎食3食手作りで、利用者の希望を取り入れた献立、朝食はパンとごはんを選択でき、家庭的な食事を大切にしている。委員会の開催や帳票類の整備、掲示物など運営基準に沿った運営がされている。

自己評価	外部評価	項目( 1棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎日、朝礼にて掲示してある病院の基本理念・「かえで」の理念を唱和し実践できるようにしている。また、年度初めには、理念の中の言葉を一つ選び深く掘り下げユニット単位での目標を立てている。この目標を達成するための個人目標を各玄関に掲示し毎月評価している。	各ユニットの玄関に、病院の基本理念、グループホームの理念、ユニットの年度目標、職員の年度目標を掲示している。職員の個人目標については毎月自己評価をしている。今年度のユニットの目標は、『利用者の外出の機会を増やす』としている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナウイルス感染防止の為に中止していたが、少しずつ行事の参加を再開しており、今年は原爆慰霊碑への千羽鶴献納へ参加した。また図書館での作品展などを通じて地域との関係を継続している。	中学生の職場体験や高校生のレクリエーション実習の受け入れ、大学の実習の受け入れなどを行っている。中学校の運動会の招待を受けたが猛暑の為辞退せざるを得なかった。地元の神楽団が来訪し公演する予定である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	看護学生や研修医、中学生や高校生の受け入れを行い、グループホームの役割の啓発を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月ごとに会議を開催し、グループホームの現状について報告を行い、各々の立場から意見を頂き改善に努めている。地域住民や警察、市の職員にも参加いただき情報交換している。	民生委員、町内会長、警察署、保健福祉センター、地域包括支援センターの職員参加で2ヶ月に1回開催している。警察からは不審者対策の協力の申し出、インシデントの報告を議題にしたり、行事の報告をスライドにするなど、参加者の意見を運営に反映している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議や他の会議で「かえで」の運営や取組みを伝えている。	毎月開催する「ケアの質向上委員会」において、市の関係部局と連携している。また、市の開催する病院施設センター会議において、事務長が参加し連携を図っている。同会議にグループホームの管理者が出席しグループホームの現状を報告する機会がある。	

自己評価	外部評価	項目( 1棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束についての研修を実施し知識の向上に努めている。また、ケアの質向上委員会にて身体拘束について話し合っている。</p> <p>認知症高齢者の行動を見守りながら寄り添う支援を実践している。</p>	<p>玄関に身体拘束ゼロ宣言を掲示し毎月開催する「ケアの質向上委員会」において、身体拘束ゼロの取り組みを確認している。職員の研修は、法人全体の研修、階層別の研修、グループホーム内の研修テーマとしており、年2回以上身体拘束に係る研修に参加している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待の防止についての研修を実施し知識の向上に努めている。また、認知症の研修会に参加する事で正しい認知症ケアを実践できるようにし、職員間で声をかけあっている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在制度を使っている人は居ないが、制度や権利擁護についても、総合施設全体での研修を実施している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に説明を行い理解を得て契約を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>契約時に苦情に関する施設相談窓口や外部機関への相談等の説明を行っている。また満足度調査を実施し、職員間で改善するための検討を行い、その結果を家族に配布している。常日頃より家族と電話連絡をとり本人の状態や要望を確認している。</p>	<p>利用者満足度調査を毎年実施し、調査結果を分析・検討し、分かり易くグラフ化するなどし、家族に回答・公表している。月に1度、担当職員と利用者が一緒に行う電話を通じて状況報告をする際にいただく意見を運営やケアに活かしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>事前に職員から意見を聞き毎月開催しているミーティングで話し合っている。また、総合施設内の経営・業務改善会議に参加しスタッフ間で情報共有している。</p>	<p>勤務については、職員からの希望休などを調整し反映している。利用者の対応充実の観点から職員の提案により新たなシフト時間の創設や電気圧力釜等備品の購入につながっている。年4回のメンタルチェックと管理者面談、年2回の副部長面談を通じて職員意見を反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人目標の評価を毎月してもらっている。年に2回管理者と個別に面談をおこない意見交換の機会を設け、努力・実績などを評価している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>段階別研修（新人研修・中堅研修）、病院の全体研修、総合施設全体研修、「かえで」研修など、毎月の研修計画を立て参加している。認知症介護実践者研修・リーダー研修への参加も支援している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>認知症対応型サービス事業開設者研修を受け入れていたが新型コロナウイルス感染防止のため中止し再開していない。施設外の研修に参加した際や他施設への面談を利用して他施設スタッフとの情報交換を行っている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前より情報収集と事前面談を行い、本人の困りごとなどを聞いている。環境が変わる事への不安等が軽減するように話を聞き安心できる様に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 1棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に家族と面談を行った際に不安な事や要望などを伺っている「かえで」内の見学は希望に応じて行っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人、家族の必要としている支援の在り方について多職種で話し合い、他のサービス資源が必要な際には紹介を行うなどニーズに合った対応ができるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者に寄り添い、喜怒哀楽を分かち合えるように関わっている。生活の中で利用者のできることに目を向け、家事や屋外活動などを一緒に行っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>日常の出来事を家族に伝え、家族からは昔の生活習慣や様子を聞き、お互いに話し合いながら対応を検討している。電話での連絡時には、本人も交えて話すこともある。家族の関わりに感謝し、家族の思いや気づきをケアに活かせるように配慮している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>予約制ではあるが面会を再開している。馴染みの人と電話や手紙でのやり取りを通じて関係が継続できるように支援している。</p>	<p>コロナ禍でも窓越し面会等工夫し、現在は、制限なく玄関横のロビーで面会をしている。隣接の施設に移動された方との関係が継続するよう面会の支援を行っている。担当職員と一緒に電話をしたり、手紙を書く支援を行っている。ドライブで実家の周りを訪ねることがある。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係性を把握し、孤立しないよう、活動への参加や日常のくつろげる場所などを配慮している。状況に応じて職員が介入し会話を繋げられるように関わっている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	総合施設内の他施設に住み替えられた利用者へ面会に行き関係を継続出来るよう努めている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプラン作成時には必ず本人・家族に意向を尋ねケアプランに反映させている。意向を伝えるに利用に対して日頃から言動の背景にある心理の理解に努めている。利用者一人ひとりの「私の姿シート」を職員全員で記入して、申し送りやミーティングなどで情報を共有している。	担当職員が中心となり「私の姿シート」を活用し、日常生活動作や趣味・嗜好、生活歴や意向など職員全員で記入し共有している。できるだけ意見を出せる状態の時に聞き取ったり、家族に確認している。また、利用の際に家族が意向や意見など記載したシートを活用している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時に生活歴や昔の暮らし、好みなどの情報を収集しまとめている。入居後も本人や家族から情報の収集を継続している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用者の1日の様子を細かく記録し本人の過ごし方を職員間で把握し情報を共有している。気づきがあれば申し送りやミーティングなどを活用し情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目( 1棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>毎月モニタリングを行い、ケアプラン作成時には、本人・家族の要望を聞き、リハビリスタッフ・歯科衛生士と連携し情報を集めアセスメントを行っている。併せて各ユニットの職員全員で「私の姿シート」を記入し、ケアプランに反映させている。</p>	<p>毎月、担当職員がモニタリングを実施し、3か月（短期目標）ごとにアセスメントを医療職と連携して行いケアプランを作成している。作成に際しては、利用者の様子を家族に報告し意見や要望を確認している。「私の姿シート」の作成を通じて介護職員間で共有している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>利用者の1日の様子を、いつ、どのように分かるように細かく記録し、ケアのヒントや気づきなど本人の言葉をそのまま電子カルテに入力している。</p>	/	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>音楽療法の実施や、歯科医師・歯科衛生士による口腔のチェック、リハビリスタッフと共同し生活機能向上のためのアセスメントを実施、管理栄養士による栄養指導等、課題解決に取り組んでいる。</p>	/	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>新型コロナウイルス感染防止のため現在は原爆慰霊碑への千羽鶴奉納のみ参加している。地域の図書館に展示する作品を作る等「かえて」内での活動に力を入れている。</p>	/	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時に当事業所の母体病院をかかりつけ医とする同意を得ている。内科・精神科・歯科・皮膚科の医師による定期的な訪問診察、必要時の通院体制を整えている。受診の経緯や結果を家族に報告している。</p>	<p>利用開始前の重要事項説明の際、母体病院をかかりつけ医とする同意を得ている。内科は月1回、精神科は週1回、歯科は2週に1回、皮膚科は月1回の訪問診療がある。また、緊急時や必要時の通院は隣接の施設職員等と連携し対応する体制を整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日中は総合施設の看護師と、夜間は母体病院の看護師と、24時間連絡が取れる体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	母体病院のため、入院時には病院職員に対し情報交換や相談が行える体制が整っている。病棟スタッフや病院の相談員・リハビリスタッフと内線で情報共有や相談を行い、退院許可が出ると直ちに受け入れ体制を整えている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	日頃から利用者の状態を家族に伝えており、今後の考えられる状態も説明している。重度化した場合は、職員は医師の指示を受けながら家族の気持ちに寄り添い安心した支援が出来る様に取り組んでいる。	利用開始時にグループホームの説明と合わせて、隣接の特別養護老人ホームや老人保健施設、病院等のサービスを説明し、重度化に際して適切に対応できる施設について家族と話し合っている。グループホームでの看取りは過去に2例ある。	
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時や事故発生時の対応をマニュアル化し、研修を実施している。また、総合施設全体研修で救命処置の研修を毎年行っている。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	総合施設全体での避難訓練、「かえて」研修会を実施し、自然災害に備え、職員が災害時の行動や、備蓄物や避難経路の確認を行っている。また運営推進会議で、警察の方にアドバイスをもらっている。	隣接施設と合同での避難訓練を年2回、グループホームでの訓練を日中と夜間想定で年に2回実施している。ハザードマップ上の警戒区域ではない。尾道市の福祉避難所となっている。隣接施設と合わせ300人の3日分の水と食料を備蓄、5機の発電機を整備している。	

自己評価	外部評価	項目( 1棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇の研修会を実施し言葉遣いや対応に配慮している。毎月接遇目標をたてモニタリングをしている。申し送りなど声の大きさや場所に配慮している。	毎月、接遇に係る委員会を開催し、接遇に対する評価を行っている。年に1回接遇や個人情報の扱い等の研修会を隣接施設と合同で実施している。入浴や排泄時の声掛けや職員間の会話についても内容や個人が特定されないよう配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者に寄り添う事で、日常の言動を把握し意思表示や自己決定がしやすいように声かけや選択肢の提示など行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者一人ひとりのペースに合わせ、意向に合わせるように支援している。また、職員の意識づけとして「かえで」理念に沿ったものであるように日頃から声をかけ合っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	今まで使用していた化粧品の使用など、本人の好みや大切にしてきた習慣に応じた身だしなみを支援し、家族とも連絡を取り合い、その人の好みの物を準備してもらうように働きかけている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	敷地内の菜園で野菜の手入れを一緒に行い収穫して利用者と職員と一緒に献立を決め準備をしている。季節の料理や誕生日には好きなものを作ってお祝いしている。利用者一人ひとりのできることを支援し、準備から片づけまでを一緒に行っている。	週に1回買い物を行い、3食職員が手作りしている。敷地内の菜園では、白菜や大根、チンゲン菜、ねぎ、えんどう豆、きゅうり、なす、トマト、かぼちゃ等、旬の野菜を献立に活かしている。誕生日には、巻き寿司やケーキなど手作りしている。利用者も一緒にお節料理を作っている。	

自己評価	外部評価	項目( 1棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの食事は把握できており本人の状態に合わせて食べ物や飲み物を提供している。嚥下困難な人にはST（言語聴覚士）の評価を基に食形態の変更や増粘剤を使用している。状態によっては個別に好みのものを提供し、体力の維持及び、摂取量の低下を防いでいる。月1回、管理栄養士から助言や指導を受けている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを実施し、個人の能力に応じ支援をしている。定期的に歯科医師・歯科衛生士の訪問診療や口腔ケアをおこない、口腔に関する相談がしやすい体制が整っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄の支援が必要な利用者は、サインや間隔を見ながら声をかけている。個々の状況に合わせオムツの種類や使い方を検討し、ご家族とも情報を共有し準備している。</p>	<p>利用者の表情、仕草や排泄のタイミングを把握し声掛けを行っている。ユニットに3箇所トイレがあり、車いす用、和式、男性用と自立の状況により選択できる。3食ヨーグルトを食し下剤を要しなくなった利用者もいる。トイレの場所は分かり易く表示している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>日常的に水分摂取に努め、食物繊維や乳製品の摂取などの工夫をしている。毎日の体操や施設周囲の散歩を行うなど、運動する機会を設けている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりのタイミングを図りながら入浴できるように支援している。利用者のペースに合わせた時間や介助法で支援している。</p>	<p>1日に3人ずつ入浴支援を行っている。拒否のある方には声掛けの工夫や職員の相性など考慮している。ゆず湯や入浴剤の活用、音楽を流すなど入浴を楽しむ工夫をしている。シャンプーや入浴剤、保湿剤など個人の物を使用できる。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	本人が好まれる場所で休息したり、個人の状態に合わせた休息時間をとれるよう支援している。今までの習慣を継続できるよう就寝時間や照明など一人ひとりの時間に合わせた声掛けを行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	利用者に処方してある薬の記録は一覧できるようにファイリングしている。処方に変更があった時は、心身の状態の観察と記録を行い介護職員、医師、看護師との連携に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	役割ができている利用者には、継続できるように支援し、意思の表現が困難な利用者には日頃の言動から好きな事に参加出来るように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節に沿って花見等の外出を行っている。また、お正月の外泊や、お盆のお墓参り、一時帰宅などの外出・外泊を家族と協力しながら行っている。	日常的には、建物の周りの散歩や池での鯉の餌やり、菜園での野菜の世話や草取りで外出を行っている。ドライブを2～3ヶ月ごとに行い地域の名所や利用者の実家あたりを訪ねている。一時帰宅や墓参り、葬儀への参加や正月に外泊する利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金の管理が困難な利用者に対して職員が関わっている。		

自己評価	外部評価	項目( 1棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	利用者が家族に電話をしたいとの希望があった時、手紙や贈り物があった際にはお礼の電話を本人からかけられるよう支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	明るすぎず、暗すぎず照明が刺激にならないように配慮している。また、大きな音や光の刺激も極力少なくなるように調整している。季節を感じられるように、花を生けその時期に応じた飾り付けを工夫している。	食堂、居間とも十分な広さがあり、一人になれるソファが複数配置されている。居間には、毎月届けられる生花を利用者が生けて飾ってある。共用部には手すりを設置し、自立した移動や動作を助けている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングや廊下など各々が安心して過ごせる様に家具やソファの配置を工夫し、くつろげる場所がある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居前の面談時に、本人の好みものや使い慣れたものを持ってきてもらうように説明している。入居時にそれらのものは、家族や本人の手により配置している。	洗面台が各居室にあり、整容等ができる。使い慣れたベッドや椅子、テーブル、筆筒やテレビ、テレビ台や鏡、姿見や鏡台、仏壇や遺影などの持ち込みがある。配置は利用者と家族が相談して決めている。畳の部屋にフローリングマットを敷くなど、好みに合った仕様としている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	目当ての場所が分かるように表札を設置している。テラスにベンチを設置し日光浴を楽しんだり、外を眺められるようにしている。中庭に花壇や菜園を作っている。		

V アウトカム項目( 1棟 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( 2棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎日、朝礼にて掲示してある病院の基本理念・「かえで」の理念を唱和し実践できるようにしている。また、年度初めには、理念の中の言葉を一つ選び深く掘り下げユニット単位での目標を立てている、この目標を達成するための個人目標を各玄関に掲示し毎月評価している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナウイルス感染防止の為に中止していたが、少しずつ行事の参加を再開しており、今年は原爆慰霊碑への千羽鶴献納へ参加した。また図書館での作品展示などを通じて地域との関係を継続している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	看護学生や研修医、中学生や高校生の受け入れを行い、グループホームの役割の啓発を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2カ月ごとに会議を開催し、グループホームの現状について報告を行い、各々の立場から意見を頂き改善に努めている。地域住民や警察、市の職員にも参加いただき情報交換している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議や他の会議で「かえで」の運営や取組みを伝えている。		

自己評価	外部評価	項目( 2棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束についての研修を実施し知識の向上に努めている。また、ケアの質向上委員会にて身体拘束について話し合っている。</p> <p>認知症高齢者の行動を見守りながら寄り添う支援を実践している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待の防止についての研修を実施し知識の向上に努めている。また、認知症の研修会に参加する事で正しい認知症ケアを実践できるようにし、職員間で声をかけあっている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在制度を使っている人は居ないが、制度や権利擁護についても、総合施設全体での研修を実施している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に説明を行い理解を得て契約を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>契約時に苦情に関する施設相談窓口や外部機関への相談等の説明を行っている。また満足度調査を実施し、職員間で改善するための検討を行い、その結果を家族に配布している。常日頃より家族と電話連絡をとり本人の状態や要望を確認している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	事前に職員から意見を聞き毎月開催しているミーティングで話し合っている。また、総合施設内の経営・業務改善会議に参加しスタッフ間で情報共有している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人目標の評価を毎月してもらっている。年に2回管理者と個別に面談をおこない意見交換の機会を設け、努力・実績などを評価している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	段階別研修（新人研修・中堅研修）、病院の全体研修、総合施設全体研修、「かえで」研修など、毎月の研修計画を立て参加している。認知症介護実践者研修・リーダー研修への参加も支援している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	認知症対応型サービス事業開設者研修を受け入れていたが新型コロナウイルス感染防止のため中止し再開していない。施設外の研修に参加した際や他施設への面談を利用して他施設スタッフとの情報交換を行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前より情報収集と事前面談を行い、本人の困りごとなどを聞いている。環境が変わる事への不安等が軽減するように話を聞き安心できる様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前に家族と面談を行った際に不安な事や要望などを伺っている「かえで」内の見学は希望に応じて行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人、家族の必要としている支援の在り方について多職種で話し合い、他のサービス資源が必要な際には紹介を行うなどニーズに合った対応ができるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者に寄り添い、喜怒哀楽を分かち合えるように関わっている。生活の中で利用者のできることに目を向け、家事や屋外活動などを一緒に行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	日常の出来事を家族に伝え、家族からは昔の生活習慣や様子を聞き、お互いに話し合いながら対応を検討している。電話での連絡時には、本人も交えて話すこともある。家族の関わりに感謝し、家族の思いや気づきをケアに活かせるように配慮している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	予約制ではあるが面会を再開している。馴染みの人と電話や手紙でのやり取りを通じて関係が継続できるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目( 2棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係性を把握し、孤立しないよう、活動への参加や日常のくつろげる場所などを配慮している。状況に応じて職員が介入し会話を繋げられるように関わっている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	総合施設内の他施設に住み替えされた利用者へ面会に行き関係を継続出来るよう努めている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプラン作成時には必ず本人・家族に意向を尋ねケアプランに反映させている。意向を伝えるに難しい利用者に対し日頃から言動の背景にある心理の理解に努めている。利用者一人ひとりの「私の姿シート」を職員全員で記入して、申し送りやミーティングなどで情報を共有している。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時に生活歴や昔の暮らし、好みなどの情報を収集しまとめている。入居後も本人や家族から情報の収集を継続している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用者の1日の様子を細かく記録し本人の過ごし方を職員間で把握し情報を共有している。気づきがあれば申し送りやミーティングなどを活用し情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目( 2棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月モニタリングを行い、ケアプラン作成時には、本人・家族の要望を聞き、リハビリスタッフ・歯科衛生士と連携し情報を集めアセスメントを行っている。併せて各ユニットの職員全員で「私の姿シート」を記入し、ケアプランに反映させている。		
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	利用者の1日の様子を、いつ、どのように分かるように細かく記録し、ケアのヒントや気づきなど本人の言葉をそのまま電子カルテに入力している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	音楽療法の実施や、歯科医師・歯科衛生士による口腔のチェック、リハビリスタッフと共同し生活機能向上のためのアセスメントを実施、管理栄養士による栄養指導等、課題解決に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	新型コロナウイルス感染防止のため現在は原爆慰霊碑への千羽鶴奉納のみ参加している。地域の図書館に展示する作品を作る等「かえで」内での活動に力を入れている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居時に当事業所の母体病院をかかりつけ医とする同意を得ている。内科・精神科・歯科・皮膚科の医師による定期的な訪問診察、必要時の通院体制を整えている。受診の経緯や結果を家族に報告している。		

自己評価	外部評価	項目( 2棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b>  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日中は総合施設の看護師と、夜間は母体病院の看護師と、24時間連絡が取れる体制を整えている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b>  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	母体病院のため、入院時には病院職員に対し情報交換や相談が行える体制が整っている。病棟スタッフや病院の相談員・リハビリスタッフと内線で情報共有や相談を行い、退院許可が出ると直ちに受け入れ体制を整えている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b>  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	日頃から利用者の状態を家族に伝えており、今後の考えられる状態も説明している。重度化した場合は、職員は医師の指示を受けながら家族の気持ちに寄り添い安心した支援が出来る様に取り組んでいる。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b>  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時や事故発生時の対応をマニュアル化し、研修を実施している。また、総合施設全体研修で救命処置の研修を毎年行っている。		
35	13	<b>○災害対策</b>  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	総合施設全体での避難訓練、「かえで」研修会を実施し、自然災害に備え、職員が災害時の行動や、備蓄物や避難経路の確認を行っている。また運営推進会議で、警察の方にアドバイスをもらっている。		

自己評価	外部評価	項目( 2棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇の研修会を実施し言葉遣いや対応に配慮している。毎月接遇目標をたてモニタリングをしている。申し送りなど声の大きさや場所に配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者に寄り添う事で、日常の言動を把握し意思表示や自己決定がしやすいように声かけや選択肢の提示など行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者一人ひとりのペースに合わせ、意向に合わせるように支援している。また、職員の意識づけとして「かえで」理念に沿ったものであるように日頃から声をかけ合っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	今まで使用していた化粧品の使用など、本人の好みや大切にしてきた習慣に応じた身だしなみを支援し、家族とも連絡を取り合い、その人の好みの物を準備してもらうように働きかけている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	敷地内の菜園で野菜の手入れを一緒に行い収穫して利用者と職員と一緒に献立を決め準備をしている。季節の料理や誕生日には好きなものを作ってお祝いしている。利用者一人ひとりのできることを支援し、準備から片づけまでを一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項目( 2棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの食事量は把握できており本人の状態に合わせて食べ物や飲み物を提供している。嚥下困難な人にはS Tの評価を基に食形態の変更や増粘剤を使用している。状態によっては個別に好みのもので提供し、体力の維持及び、摂取量の低下を防いでいる。月1回、管理栄養士から助言や指導を受けている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを実施し、個人の能力に応じ支援している。定期的に歯科医師・歯科衛生士の訪問診療や口腔ケアをおこない、口腔に関する相談がしやすい体制が整っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄の支援が必要な利用者は、サインや間隔を見ながら声をかけている。個々の状況に合わせてオムツの種類や使い方を検討し、ご家族とも情報を共有し準備している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>日常的に水分摂取に努め、食物繊維や乳製品の摂取などの工夫をしている。毎日の体操や施設周囲の散歩を行うなど、運動する機会を設けている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりのタイミングを図りながら入浴できるように支援している。利用者のペースに合わせた時間や介助法で支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	本人が好まれる場所で休息したり、個人の状態に合わせた休息時間をとれるよう支援している。今までの習慣を継続できるよう就寝時間や照明など一人ひとりの時間に合わせた声掛けを行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	利用者に処方してある薬の記録は一覧できるようにファイリングしている。処方に変更があった時は、心身の状態の観察と記録を行い介護職員、医師、看護師との連携に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	役割ができていない利用者には、継続できるように支援し、意思の表現が困難な利用者には日頃の言動から好きな事に参加出来るように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節に沿って花見等の外出を行っている。また、お正月の外泊や、お盆のお墓参り、一時帰宅などの外出・外泊を家族と協力しながら行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金の管理が困難な利用者に対して職員が関わっている。		

自己評価	外部評価	項目( 2棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>利用者が家族に電話をしたいとの希望があった時、手紙や贈り物があった際にはお礼の電話を本人からかけられるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>明るすぎず、暗すぎず照明が刺激にならないように配慮している。また、大きな音や光の刺激も極力少なくなるように調整している。季節を感じられるように、花を生けその時期に応じた飾り付けを工夫している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングや廊下など各々が安心して過ごせる様に家具やソファの配置を工夫し、くつろげる場所がある。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居前の面談時に、本人の好みのものや使い慣れたものを持ってきてもらうように説明している。入居時にそれらのものは、家族や本人の手により配置している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>目当ての場所が分かるように表札を設置している。テラスにベンチを設置し日光浴を楽しんだり、外を眺めれるようにしている。中庭に花壇や菜園を作っている。</p>		

V アウトカム項目( 2棟 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 公立みつぎ総合病院グループホーム「かえで」

作成日 令和6年12月12日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	49	外出を再開、頻度を増やしたが以前ほどの頻度ではない。	コロナウイルス感染防止以前の外出頻度を取り戻す。	年間の外出計画の頻度を増やす。	1年間
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。